



# Noguchi Times

Vol. 24 2019.2.21



2018年12月8日 フェロー講演会にて

## CONTENTS

|                        |       |      |
|------------------------|-------|------|
| ■ 『野口ビジネス交流会 2018年秋』   | ..... | P2   |
| ■ 『第6回野口医学研究所奨学金授与式』   | ..... | P3   |
| ■ 『健康博覧会 2019』         | ..... | P4,5 |
| ■ 医学交流セミナー：『米国臨床研修選考会』 | ..... | P6   |
| ■ 医学交流セミナー：『野口フェロー講演会』 | ..... | P7   |

# 『野口ビジネス交流会 2018秋』

2018年10月18日（木）於：野口医学研究所 会議室

野口ビジネス交流会2018秋では、橋本政和先生にご講演頂きました。以下ご報告致します。

## 『1日5分：ビジネスパーソンのα波コントロールエクササイズ』 ～α波誘導型マインドフルネスでメンタル・ビルドアップ～



NPO法人日本健康事業促進協会  
理事長 橋本政和

- 1953年 静岡市生まれ
- ・米国財団法人 野口医学研究所 倫理審査委員
- ・生理学博士(米国学位授与機構)

【著書】『もう電磁波は怖くない』（1996年 たま出版刊）  
『自分で出来るストレスコントロール法教えます』DVD  
（2007年 ㈱日本マンパワー刊）

### 《主な内容》

ストレスは、緊張や不安、孤独、焦燥感等、心理的起因によるものであると捉えられがちですが、私たちが心身ともに感じる事、脳が反応していること全てがストレスの原因になり得るのです。

ストレスという刺激を緊張して受け取る場合、肩の力を抜いて受け取る場合、ポジティブに捉える場合、ネガティブに捉える場合によって、身体に起きる反応は全く異なります。

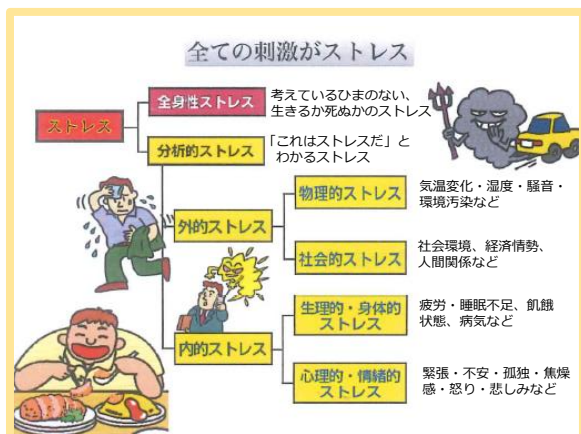
例えば、物事をポジティブに捉えている時は、周波数8～12ヘルツのα波になり易く自律神経を安定させるセロトニンが多く分泌されます。それに対して、ネガティブに捉えている時は、周波数13ヘルツ以上の過度なβ波になりやすく、アドレナリンによって途切れなく緊張状態が続いている傾向がみられます。

それでは、どんな時にα波が出るのでしょうか。ヒントは呼吸にあります。マインドフルネスというのは、簡単にいうと呼吸に意識を向けることで脳を休ませることです。単に生命保持をする為ではなく、意識的に腹筋を使った心身活性の為の呼吸をすることが大切です。

腹筋を使ったリズムのある呼吸をすることで、脳へ適度に酸素を送ることができ、血流もトロトロの良い状態になります。

皆さんが本セミナーの中で体験した呼吸法を日常生活の中で少しでも実践して頂ければ、α波を上手にコントロールすることができます。未病という概念で、ぜひ脳疲労の改善に取り組んで頂ければと思います。

### 《橋本先生の資料から一部抜粋》



### 《橋本先生にご紹介頂いた α波コントロールエクササイズの様子》





# 『第6回野口医学研究所奨学金授与式』

2018年10月16日(火) 於：女子栄養大学・駒込キャンパス

2018年10月16日(火)、女子栄養大学 栄養学部・栄養学部二部・短期大学部・香川調理専門学校の学生に対し、第6回野口医学研究所奨学金授与式が行われました。

野口医学研究所は、経済的理由により修学が困難な学生に対し、救済の手を差し伸べることを目的として、平成25年10月から、女子栄養大学並びに女子栄養大学短期大学部に奨学金の給付を行っています。第6回目の今回は16名の学生に給付しました。

授与式では、奨学金が給付される学生に対し、浅野嘉久社員総代から給付決定通知書を授与しました。野口医学研究所では、今後も人々の健康に寄与する人材の育成を助成していきたいと考えています。



浅野 嘉久

米国財団法人野口医学研究所(以下、米財野口) 創立者・名誉理事  
一般社団法人野口医学研究所(以下、社団野口) 社員総代・相談役

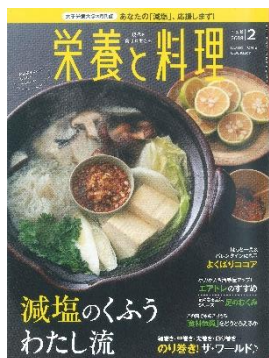


奨学金受給者および女子栄養大学役員の方々

前列：社団野口スタッフ、左から5番目：女子栄養大学 学長 香川明夫、女子栄養大学 副学長 五明紀春、女子栄養大学短期大学部 副学長 廣末トシ子、香川調理製菓専門学校 校長 古川瑞雄、女子栄養大学 常務理事 染谷忠彦  
後列：奨学金受給者

## 栄養と料理 2019年2月号に野口医学研究所が紹介されました。

『新'食の社会科見学』というコーナーで、米財および社団の活動について取材を受けました。



計量スプーンの「スプーニー」

計量カップの「カッピー」

レシピカードの「レシピィ」

女子栄養大学創立者の香川綾先生が考案した計量器などをモチーフにした女子栄養大学のキャラクター

# 『健康博覧会 2019』

2019年1月23日(水)～1月25日(金) 於：東京ビッグサイト 西1・2ホール

多くの方にご来場頂き、ありがとうございます！

社団野口は、「健康寿命の延伸」をテーマとした国内最大級の健康産業ビジネストレードショー『健康博覧会 2019』に出展しました。展示会概要を以下にご報告致します。

2019年展示会総来場者数

※  
**36,951名**



※健康博覧会事務局 (UBMジャパン株式会社) 公開

野口医学研究所って  
こんな活動も  
してるんだ！



## 【主な紹介サービス】

- ➡ OEM・ODMの受託製造
- ➡ 野口品質推奨
- ➡ 野口メディカルツアー

## 野口医学研究所 出展エリア

### 健康食品・サプリメント展

- 健康食品 ●サプリメント
- 健康志向食品 (健康茶、健康飲料、健康菓子、健康油、健康調味料など)

### FOOD DESIGN EXPO

- 機能性食品・ドリンク(原料・OEM)展
- 原料 (植物由来/動物由来/合成原料)
- 受託製造 ●容器・包装
- 販促・リーガルサポート など

### オーガニック&ナチュラル・プロダクツ展

- オーガニック (食品・コスメ・繊維など)
- 各種フリー食品 (グルテン、アレルギーなど)
- ベジタリアン・ビーガン ●スーパーフード・雑穀 など

### ビューティー&エイジングケア展

- スキン・ヘアケア ●インナービューティ
- エイジングケア関連商材 ●機能性インナー
- 美容機器・雑貨 ●化粧品OEM など

### スポーツコンディショニング展

- トレーニングマシン
- リハビリ機器・グッズ
- ストレッチ・コンディショニング商材
- 機能性衣料・サポーター・シューズ など

### 健康機器展

- 家庭用医療機器・治療機器
- リラクゼーション機器・グッズ
- ヘルスチェック機器・サービス
- 浄水器・浄水器 など

国内最大級の健康産業BtoB商談展

## 健康博覧会

Tokyo Health Industry Show 2019

## FOOD DESIGN EXPO

機能性食品・ドリンク(原料・OEM)展

### ご当地商材発掘企画エリア

青森県のプロテオグリカンや和歌山県のじゃばらなど、各地域に眠る健康美容商材や6次産業ご当地商材など、地域にスポットライトを当ててご紹介





# 野口医学研究所は健康食品メーカー？

【展示会でご紹介した他社とは違う4つの特徴】



## 1 野口英世博士の マークの提供



### ブランド力の向上

野口医学研究所の品質推奨制度に登録された場合、野口英世博士の肖像を商品に使用することが出来ます。

また、その商品の売上の一部は米財野口を通じ、医療従事者の留学支援等、国際医学交流に使用される為、社会貢献活動へ参加していることもアピールできます。

## 2 企画・開発



他社には無い尖り商品  
独自のコンセプトを提案

企画立案から商品の製造まで総合的にサポートします。当社団が世界中に持つネットワークを駆使し、これまでにない新たな商品コンセプトのご提案も可能です。

## 3 アフターフォロー



ただ造るだけではない  
手厚い販売フォロー

一つの商品を継続的に販売していく為には、アフターフォローが重要です。社団野口では、お客様相談室の代行や販売支援の為の勉強会実施等、サポート体制も万全です。

ブランド力

企画力

サポート力

商品力

## 4 専門性



有資格者だから出来る商品

「医師」「管理栄養士」「サプリメントアドバイザー」「看護師」等、有資格者が商品企画の全てに携わります。安心安全で自信を持って販売して頂ける商品の製造が可能です。

## 健康博覧会運営委員 担当者から 今年の展示会“ウラ”話

### ポイント1

こんなに  
注目されるとは？！

卵殻エキスを配合した化粧品



卵殻膜エキスを配合した化粧品のご紹介スペースを用意したところ、多くの方に興味を持っていただき、完売。今後も商品提案の場を広げて参ります。

### ポイント2

念願の  
野口ジャンパー！

野口ジャンパー

裏面



以前も案として挙がっていた「野口ジャンパー」。中々実現しなかった展示会用ユニフォームを今回初めてスタッフ全員に用意。ジャンパーの着用で野口グリーンを訴求した統一感のあるブースになりました。

### ポイント3

高さ  
3.6m  
大きすぎる野口英世博士？！



3.6mもの高さがあるパネルを使用。野口英世博士の写真は、女性スタッフがすっぽり隠れるくらいの大きさでした。

“インスタ映え”を狙いましたが、残念ながら記念写真を撮る方までにはい wasn't でした。

次回に期待です！



# 『米国臨床研修選考会』

2018年12月9日(日) 於：米国財団法人野口医学研究所

主催：特定非営利活動法人野口医学研究所 共催：一般社団法人野口医学研究所

米財野口では、“Humanity & Empathy in Medicine”の理念を基に、患者優先の医療を実現する為、医師や医学生の米国臨床研修を支援しています。今年度も、研修に送り出す医師や医学生を選定する選考会を2018年12月9日(日)に実施しましたのでご報告致します。

## 野口医学研究所の選考会は満足度が違う！！

### 1 海外臨床研修経験者による面接！

日米の医療現場で活躍している先生方が選考委員の為、各受験者に対して適切なアドバイスをしました。



- ① ミシガン大学家庭医療科 Michael D. Fetters
- ② 野口医学研究所評議員会 会長 佐藤隆美
- ③ 野口医学研究所理事長 佐野潔
- ④ 聖路加国際病院がんゲノムセンター センター長 山内昭夫
- ⑤ 亀田総合病院 臨床教育専任医師 Sandra Y. Moody
- ⑥ 国際医療福祉大学病院 教授 石黒 洋
- ⑦ 大阪母子医療センター集中治療科 稲田雄
- ⑧ 株式会社生命科学研究所 代表取締役社長 阿部みな子
- ⑨ 埼玉医科大学病院総合内科 助教 山田悠史
- ⑩ NPO野口医学研究所 常務理事 末永佳文

### 2 医師としての実力アップー英語での模擬試験ー！

米国での医師免許取得を想定して、診察の模擬試験(Clinical Skills)を英語で行いました。



### 3 希望の病院で採用される為の面接対策！ 「Advice for residency interview from program perspective !」

米国で専門医研修(Residency Program)を受ける為には、教育プログラムがある病院へ自ら応募し、面接の機会を得なければなりません。希望する病院で採用してもらう為にはどのような準備が必要なのか、Dr. Michael D. Fettersに講演して頂きました。



### 4 野口プログラムに参加した修了生の研修報告会！

実際にプログラムに参加した医師・医学生に、現地へ行くまでの経緯や研修を通して学んだことを報告して頂きました。



- ① 2019年 11月 ハワイ大学エクスターン研修修了 新道 悠
- ② 2019年 3月 トーマス・ジェファーソン大学 M3研修修了 大木 絵美梨
- ③ 2019年 4月 パシフィックパートナーシップ研修修了 岸田 みずえ

#### 参加者からの感想

今後の人生にプラスになることが多い1日となりました。

選考会なのに、勉強会の様に内容が盛り沢山でとても良かったです。

模擬診察では、多くの有益なフィードバックを得ることができました。

客観的な意見を頂ける機会は多くないので、とても貴重でした。





# 『第1回フェロー講演会』

2018年12月8日(土) 於：野口医学研究所 大会議室

米財野口が提供する医学交流プログラムにより海外留学を経験した卒業生は1000名を超え、世界の医療現場で活躍中です。今回の講演会では、米国臨床研修後から現在に至るまでの経緯と研究について、以下5名の先生方にご講演頂きました。

## 米国臨床研修の経験を医療現場で生かすには？！



### 『癌免疫療法最前線』

**佐藤隆美**

米国財団法人野口医学研究所 評議員会 会長  
トーマス・ジェファーソン大学 教授  
▶ 1991年研修 (Thomas Jefferson University)

野口医学研究所を通じて癌免疫治療に携わる機会を得る。その後、1999年に眼に起こる悪性黒色腫の肝臓転移に対するGM-CSFを用いた免疫塞栓療法を開発して患者の生存期間を3倍以上に伸ばすことに成功。本講演では、現在米国で行われている新しい免疫療法の試みを紹介するとともに、その課題についても説明した。



講演された先生方



### 『総合医育成プログラムの軌跡と今後』

**藤谷茂樹**

聖マリアンナ医科大学 救急医学 教授  
▶ 1999年研修 (University of Hawaii)

野口医学研究所を通じて米国内科レジデンシー、集中治療、感染症フェローシップを経験する機会を得る。帰国後、米国式臨床指導を実践する教育病院を設立し、センター長として就任。本講演では、プログラムの立ち上げの経緯や今後発展させるためにクリアしなければならない問題点と対応策について説明した。



### 『日本にはない診療科：腫瘍内科の過去・現在・未来』

**山内照夫**

聖路加国際病院 腫瘍内科部長  
▶ 2000年研修 (University of Hawaii)

1994年に渡米。がん関連基礎研究を複数の施設で経験した後、野口医学研究所を通じて臨床研修の機会を得る。日米の臨床研修の違い、日本に存在しなかった腫瘍内科の研修を基に、今後のがん診療・研究における日本の腫瘍内科のあり方を説明した。



### 『がん薬物療法における心と術(わざ)』

**石黒洋**

国際医療福祉大学病院 腫瘍内科教授  
▶ 1992年研修 (Englewood Hospital)

野口医学研究所を通じて腫瘍内科の臨床研修の機会を得る。本講演では、抗がん薬治療について、同じ治療計画書・用量を選択しながらもその有効性や安全性を最大限に高めるポイントや副作用軽減法などについて説明した。



### 『Empathy(共感性)と医学教育』

**片岡仁美**

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授  
▶ 2000年研修 (Thomas Jefferson University)

野口医学研究所を通じて米国の臨床教育に触れた後、Thomas Jefferson Universityに留学しEmpathy(共感性)の研究に出会う。本講演ではEmpathyをいかに醸成することができるか、またEmpathyとキャリア形成について説明した。



講演会終了後には、米財野口理事長の佐野潔先生から講演者の皆さんへ、医学教育の功績を称え、楯が贈呈されました。また、評議員会会長の佐藤隆美先生から、日本事務局へ感謝の意が込められたMemorial Plaqueを頂きました。



野口英世記念

野口医学研究所

Noguchi Medical Research Institute Since 1983

## NOGUCHI TIMES Vol. 24

---

|      |                                                                     |
|------|---------------------------------------------------------------------|
| 発行日  | 2019年2月21日                                                          |
| 発行人  | 浅野 嘉久                                                               |
| 編集   | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-9<br>スズエ・アンド・スズエビル 4階                        |
| 代表電話 | 03-3501-0130                                                        |
|      | 一般社団法人野口医学研究所                                                       |
|      | <a href="http://www.noguchi-net.com">http://www.noguchi-net.com</a> |

---